

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 (仮称)福知山市新学校給食センター

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境								3.0
1 音環境		1.8	0.15	-	-			1.8
1.1 騒音		2.0	0.40	-	-			
1 暗騒音レベル		2.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		2.2	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		1.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 待機が空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.6	0.25	-	-			2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00	3.0	-			
2 照度均等性		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		4.4	0.25	-	-			4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	天井裏含めF☆☆☆☆以上	5.0	1.00	3.0	-			
2 アズベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 換気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物内は禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能								3.6
1 機能性		3.6	0.40	-	-			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.6	0.60	-	-			
1 広さ・収納性	1人当たり10㎡程度	4.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画	京都府福祉のまちづくり条例により整備	4.0	0.33	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.40	-	-			
1 広さ感・景観	天井高さ2.7m	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	建物内は禁煙、休憩室の設置	4.0	0.33	3.0	-			
3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-			
1.3 維持管理		3.0	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-			3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 耐震性	大地震時重要度係数1.25	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塗床・VS、壁:塗装、Vクロス、天井:ボード	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にCを使用	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新									
2.4 信頼性			3.6	0.19					
1	空調・換気設備	換気システムの区分化、熱源バックアップ	4.0	0.20					
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、系統の区分化	4.0	0.20					
3	電気設備		3.0	0.20					
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20					
5	通信・情報設備	通信の多様化、浸水対策	4.0	0.20					
3 対応性・更新性			3.9	0.29					3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31					
1	階高のゆとり	階高:4.2m	5.0	0.60	3.0				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.15程度	4.0	0.40	3.0				
3.2 荷重のゆとり		積載荷重4900N(割増は床用より小さい値)	4.0	0.31	3.0				
3.3 設備の更新性			3.2	0.38					
1	空調配管の更新性		2.0	0.17					
2	給排水管の更新性		3.0	0.17					
3	電気配線の更新性		3.0	0.11					
4	通信配線の更新性		3.0	0.11					
5	設備機器の更新性	配管ビットを設置	5.0	0.22					
6	バックアップスペース		3.0	0.22					
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40					3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30					3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺からの眺望、周囲にある市場との調和、十分な緑化	4.0	0.40					4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30					3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50					
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50					
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-					3.5
LR1 エネルギー			-	0.40					3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-					3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29					3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50					
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルの設置	4.0	0.50					
3 設備システムの高効率化		省エネルギー基準を満たす ERR=10	3.8	0.43					3.8
4 効率的運用			3.5	0.29					3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50					
4.2	運用管理体制	教育委員会学校給食センターが運用維持保全	4.0	0.50					
LR2 資源・マテリアル			-	0.30					3.8
1 水資源保護			3.4	0.15					3.4
1.1	節水	節水コマ、節水型便器の採用	4.0	0.40					
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60					
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67					
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33					
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63					3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07					
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25					
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21					
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材、木質系セメント板、ビニル床材、ほか	5.0	0.21					
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-					
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	仕上は軽鉄+ボード、事務室はOAフロア	5.0	0.25					
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22					4.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32					
3.2 フロン・ハロンの回避			4.5	0.68					
1	消火剤		-	-					
2	断熱材	陸屋根:押出法ホリスチレンフォーム、折版:グラスウール	5.0	0.50					
3	冷媒	ODP=0、GWP50未満	4.0	0.50					
LR3 敷地外環境			-	0.30					3.3
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33					3.0
2 地域環境への配慮			3.5	0.33					3.5
2.1	大気汚染防止	大気汚染排出基準への大幅な低減	4.0	0.25					
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50					
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25					
1	雨水排水負荷低減		-	-					
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33					
3	交通負荷抑制	駐輪場設置、余裕のある駐車場計画、無理のない車両動線計画	5.0	0.33					
4	廃棄物処理負荷抑制	積極的な廃棄物対策、分別廃棄庫、残菜処理室	4.0	0.33					
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33					3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40					
1	騒音		3.0	0.33					
2	振動		3.0	0.33					
3	悪臭		3.0	0.33					
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.3	0.40					
1	風害の抑制		3.0	0.70					
2	日照阻害の抑制	1ランク上の日影基準を満たす	4.0	0.30					
3.3 光害の抑制			4.4	0.20					
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物なし	5.0	0.70					
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30					